제892호 1912. 2. 21.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金六十錢▲特別廣告五號活字一行金七十錢
發行兼編輯人　高木[illegible]
印刷人　松久[illegible]
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話大三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町十番地

●東京だより

◎隣邦動亂發生以來四ヶ月、惱みに惱んだる君主共和の爭ひも、愈々去十二日共和立憲の宣布と共に一段落を告げしは、先づ〳〵目出度事なり、而も一度同國の前途に就て顧念せば今後の政局こそ、寧ろ悽風怖雨、平和の春を亂すものなしとせむや。

◎共和政府成立後の支那が、秩序正々果して革新の目的を達し得るや否やは別問題として、貧弱なる新政府が第一其財力に於て、第二其武力に於て到底外國の後援を仰がざるべからざるは明かなる事實也、然らば之を英米に依賴するか、又獨露に待つか、將た善隣の日本に求むるかは今後支那國を支配するもの、最も深き攻究を要する問題と存候、同國領袖連の苦心も此處にありと存候。

◎支那新政府の代表的人物は先づ袁孫黃に指を屈せざるべからず、此外に黎元洪の一派、諮議局の一派あるも之等は其主義に於て右三者中に包容せらるゝものなり、而して袁世凱が兼てより外國殊に獨英に親しみ日本排斥論者なる事は已定の事實なるが、孫逸仙は多年黃興と提携して我國にも流遇し、我民間知名の士中にも多數の知己を存し革命の種をば殆んど我國にて培養せられたる觀あれば、彼と我國は恰も親子の關係を有し、必然我國に信賴するを當然とせんも、昨年十月革命動亂發生以來、我當局の措置甚だ當を失し、彼の感觸を害したるは勿論、日本恃むべからずてふ念慮を彼等同志中にも起さしめたり殊に從來西洋主義の彼が英米に親善信賴せんとするの傾向は近頃彼の言行に徵しても明なりとせん、されば袁孫妥協提携したる新政府が今後排日主義に傾く事は當然の事と被存候。

◎我外交は斯くの如くにして　列强の乘ずる所となり、今後頗る不利なる地位に立てるが、我外務當局には如何なる心算かある、想ふに新政府成立後の勢力は二個に分離ずべし、一は西洋主義の袁孫一派、一は東洋主義の黃興一派とす、目下の狀勢に在つては其の勢力或は袁孫に及ばざるものあらんも、彼れは始終一貫親日主義の人、萬事日本に依賴すべしとさへ公言せり、常に袁孫の姑息主義に慊たらず、主戰主義を持し、而も重厚にして衆望ある所西郷南洲の面影あり、殊に陸軍の實權を掌握し、其同志には湯化龍、胡瑛、居正等の有力者を有し其潛勢力案外に偉大なるものあり、されば我が敗れたる外交も之に依て恢復するを得策と存候。（露生）

●吾人の宗教

渡邊不言

宗教には信仰なかる可からず吾人の宗教は老子の谷神の如く儒教の天の如く若かく漠然たるものにあらず必ずや活きて働きつゝある眞理（空海の所謂眞如）ならざる可からず之れ基督教が人格的の神を拜し今尙ほ生ける基督を信ずと云ふ所以も又茲にあるが然り而して吾人は吾人の祖先だの掛卷も綾に畏き天照皇大神の時間的にも空間的にも縱橫に通じて絕對の偉德を具へ純愛の御精神を以て吾人に訓誡を給へる完全無缺の神をし拜するものなれば歷史上より見て間然すべき缺點あるものをまで美化して信ずるの必要なし然るに世の宗教家往々吾が神道を知らずして直ちに目して祖先をのみ祭祀するの敎にして宗教に缺ぐ可からざる人類に普遍共通の性質を帶びずとなす嗚呼又た神道を知らざるものと云ふ可し神道の敎理は祖先を祭祀し之を尊崇し之を通じて造化の神を知らんことを求むるものなり故に吾人は確言す亞米利加人にあつてはワシントンを尊崇し之れを通じて神を知るも尙ほ可なり佛人にあつてはシャンターグ、ナポレオン等を尊崇し之れを通じて神を知るも又た可ならずや是れ吾神道惟神の理なり惟神とは天然自然の理にして必ずしも風俗人情までを打破して敎を立つるものにあらず我日本帝國は族制的國家にして上下に發展したるものなれば統治權の所在は君主にあつて人民にあらず於是か個人志想をのみ主張する宗教は我國建國の國是に反するものなり近頃彼等外教徒中には斯る場合に際して曰く肉を天皇に捧げ靈を神に捧げよと矣ぞ知らん物心不二は最近哲學者の一致せる眞理なるを靈肉決して分つ可からず然るに靈を拔きたる骨なしの肉だけを君に捧げたりとて何の効がある、靈肉共に捧げてこそ眞の忠義なれ如上の理由なるが故に現今幾多外教の名義を以て布教しつゝある數も大觀すれば又た我神道を布教しつゝあるものと云はんと欲するなり

文苑

●舊曆元日の市街

ケー、エス生

支那街の煙花の音爆竹の響きに夜は明けて舊正月の元旦が來た旭光天地に洽く五色の旗勇ましく朝風に飜る踵を返して新同胞を觀ればいと靜肅の裡に樂しき初春を迎へて顏上喜悅の情が溢れてゐる新裝せる子供等が巷に群れ遊べる古昔の唐子とやらを見る如く愛らし所謂ハイカラなるは高貴織のツアメキなど纏ふたるを電車內にて見受けたり盛裝したる新同胞や中華民國人の得意げに濶歩せる道の傍らに立つ老擔軍ヤハリ昨日の襤褸姿であつた客待つ鮮人車夫の顏も平素よりは赤く見わた斯かる人達の快樂と慰籍は酒以外に見出せないのだ。

外事一束

▲英國●議會十四日開院式を行ひ廣翁の嫡孫處女演說をなし大喝采を博せり

▲英獨●兩國は近く支那に對する協商を發表することに決定したりと云へり

▲英領●南北ニゲリヤは香港總督に依り發表せらるゝ旨英國政府に發表さる

▲日本●及び丁抹間の通商條約並に關稅條約は十四日を以て調印せられたり

▲合衆●國政府は自國が墨國擾亂に干涉すべしとの風說を否認したりと

▲北米●大統領ルーズヴエルト氏を煽民政治家其の徒輩を狂人也と演說せり

▲風說●露獨墺三國皇帝千九百十二年を以て會見すと云ふも露都に否認さる

▲墺帝●フランス、ヨセフ陛下近々世界一週旅行を試み極東をも訪問すべしと

▲英都●官吏社會は英陸相の英獨接近計畫は今や普通徑路に依り進行中と云ふ

梁川庄八

小金井蘆洲演

第百七回

さあ雉子屋兵助は天にも地にも只た一人の倅兵吉が入牢の身となつたものでありますから、何うか助けたいと思つて親類一同連署の上で、歎願したが一向に聞屆にならぬ、聞屆けぬとは申しながら奈良奉行も德川樣の百ヶ條の條目中にも、十五未滿の者が鹿を殺したからとて死罪に行ふと云ふ、條目はござりませぬ、夫から自分の勤役中に鹿殺しの小供を石子詰の井に行ふたと云ふことが、記錄に殘つては詰り奉行の不働きに相成る譯であるから、心の中では助けたいのは山々だが、前にも言ふ通り鹿殺をした者は石子詰の刑に行ふと云ふことは、興福寺に於ける往古よりの言傳で、假令將軍が代り、奉行が代つても舊例を追ふて、此奈良の町だけには石子詰と云ふ一種特別の刑罰が存して居ります、夫故德川樣の法律に照して如何すると云ふ譯にも行きませぬ、兎角此興福寺は勅願寺の勢を振つて、折々奈良奉行に迷惑を掛けることがございますで、實は奉行も興福寺に對して憚つて居るのでございますが、今云通り小供の石子詰に爲たくはないと思ふから、態と長引て居る其中に何とか示談になるであらう、假令鍋屋と雉子屋の間に聊かの怨あるにもせよ人命は重し、其中に仲人が這入つて結局鍋屋が願下げに出ないとも限らぬと云ふ、奉行の考へで態と長引いて居るのでございます、併し親元の雉子屋から幾ら歎願致した所が、夫では順が違ふから聞屆けると云ふ譯には行かない、それで願書は何時も却下になつて了ふ、雉子屋兵助も百計茲に盡きて、此上は鍋屋に賴んで願出して貰ふより外に仕方はないと、人を以て段々鍋屋に賴入つたがなか〳〵聞かない　清『私は上の布令を守つた丈けの事、別に人の子の命を助けやうの殺さうのと云ふそんな勝手なことは奉行でないから出來ない、雉子屋さんは發明な人間だから、自分の子を人の力で助けやうなんて云ふ、淺果な考は持ちますまい、私は一向そんな事に口を出すことは出來ない』と我身をつめつて人の痛さを知と云はぬばかりの挨拶、扨兵助は前の宿意が有るので斯く云ふとは思つたけれども、最愛なる我子の一命には換難し、忍んで自身に鍋屋清兵衞の處に行て涙を流して、何うか我子の一命を助けると思ふて願ひ下げて呉れと、縋入たが清兵衞はふーむと鼻で遇つて少しも受付けませぬ、只苦み笑をして、それ見たことかと云はぬばかりの顏色、何と云てもなかなか承知して呉れませぬ、什方がないから雉子屋兵助此上は興福寺樣へ歎願するより外はないと思つて、興福寺へ行て只管歎願致しましたが、一體此興福寺の坊主共は日頃鍋屋清兵衞の家を遊びどころに致して居て、坊主に似合ぬ破戒の廉を清兵衞に認められて居から、自から清兵衞へ贔負するやうな姿で、又清兵衞の方でも兼々役僧等に假令雉子屋から如何やうな歎願があつても聞て呉るなと云ふ賴みであるから、興福寺に於ては鍋屋の云事のみを用て、雉子屋の歎願を容る氣色がございませぬ、却つて奈良奉行に向つて、興福寺から一日も早く兵吉を石子詰の所刑に上げろと云ふ催促、若し之を此儘に棄置くときは、或は奈良町の者が之を奇貨として布令に背き猥りに鹿を殺し、皮を敷物として其肉を食ひ又その角を細工物に爲ぬとも限らぬ、斯くては明神樣の神慮にも叶はず、年々鹿の數が減つて遂に遺類なきやに至るも計り難し、就ては右兵吉を石子詰の刑に行へば、何人も之に懼りて後來を愼み自から鹿の數も殖へるであろう、是れ一人を殺して萬人を戒むるの處刑、早々石子詰に處して呉れと、我儘勝手な理屈を設けて御催促に及ぶ、奉行に於ても　いよ〳〵鹿殺しの罪人と極つたものを、何時までも棄置く譯には參りませんから、今は是非なきことゝ、後藤內記は茲に決斷して不憫とは思つたが、右の兵吉に石子詰の言渡を致しました、固より小供の事とても是から爲ないから拗辨して下されと、後は只わつ〳〵泣いて居るばかり、いよ〳〵今日は石子詰の刑に行ふと云ふことになつて兵吉を怪しげなる引廻し馬に乘せ、罪科の次第は紙幟に認めて其紙幟を牢屋乞食が眞先に押立て興福寺からも見屆けとして、法師十人至つて嚴重な出立で馬に乘り附添う、彼此れ與力同心牢屋番を加へて二十人ばかり警衞して右の兵吉を引廻しまする



東京電報

▲上院の豫算問答　十九日の貴族院豫算總會に於て海軍擴張、社會政策、制度整理の諸問題に關し議員と大臣の間に大問答ありたり

▲山縣氏の葉山行　山縣公爵は十九日午前葉山に行き皇后陛下の御機嫌を奉伺せり

▲赤十字代表委員　來る五月七日より華盛頓に於て萬國赤十字會議開會に付我國にても委員を派遣の事となり[illegible]其外二十日陸軍省參事官法學博士秋山雅之介陸軍三等軍醫正井上圭治の二氏米國に出張仰付けられたり

▲韓國瓦斯總會　韓國瓦斯電氣株式會社は十四日定時株主總會を開き年四朱の利益配當案を附議する事に決せり

▲朝鮮銀行總會　朝鮮銀行株主總會は廿日午前六時より東京銀行集會所に於て開會したるが市原總裁の事業報告あり二三の質問ありたる後六步の利益配當案及諸案を可決し午後二時閉會せり

▲選擧法改正と政友會　今回提出せらるべき選擧法改正案に對し政友會にては[illegible]是非除外例を要求すべしと

北京特電

▲陽曆改正の布告　袁世凱は陰曆元旦の日より陽曆に改め中華民國元年二月十八日とすべく布告を發せり

▲宗社黨抗反運動　[illegible]宗社黨多數奉天に入込み幼帝を奉じ滿蒙の獨立を謀らんと運動中なり

▲藍天蔚に訓電　袁世凱は[illegible]滿洲に在る北伐軍指令藍天蔚に向け[illegible]訓電を發せり

▲滿洲と共和國旗　滿洲各地皆新共和國旗を揭げ新年を迎へたり

▲袁と吉林巡撫　吉林巡撫は革命に一致し袁世凱を大統領に推選する旨電報を發せり

▲張作霖の警告　張作霖は袁世凱に祝電を送り曰く閣下大統領に公選さる天下の爲め祝賀の至りに堪へず而して南京遷都は大に議論の存する所にして強いて之を決行せんか、或は紛擾を惹起する恐れあり慎重深慮を要すと

南京特電

▲孫黃と新政府　孫逸仙は共和政府最高顧問に黃興は陸軍部長たるべし

▲二博士顧問辭任　寺尾、副島兩博士は南京政府の顧問を辭せり

雜報

●紙幣手形共通案　內地朝鮮間に於ける紙幣及手形を共通にするは頗る必要のことゝあり政府は右法律案を議會に[illegible]決定したりといふ

●議會と朝鮮問題　十九日午後七時總督府に達したる公電によれば十九日貴族院に於て大体の質問を行ひ[illegible]關係の事項なし議員間の紹介にて朝鮮穀物移入税[illegible]を提出せり

●京城の土地調査　京城に於ける土地賣買及び典當契約は臺帳作製のため案外に遲延し從つて當業者の迷惑を感ずること少なからず依つて京城日本人商業會議所にては[illegible]聯合會の問題として[illegible]も早からんことを其筋に[illegible]京城府廳よりも土地調査局に對し同樣の請願を爲したることなるが土地調査局にては[illegible]復舊の地なるを以て地方の熟練を俟つて調査に着手すべく內定し從つて後延しとなりしが斯くては內地人と增加し市街の發展と便宜損害少なからざりて假かに調査に着手すべく立て來年度より實行豫算及調査計畫變更が其の調査の困難なる內地の町名と朝鮮の町名との

●米移入税撤廢請願　別報米穀移入税撤廢に關し[illegible]崎邦輔氏外三名の紹介にて請願書提出されたるが右は全國會議所聯合會の決議に基けるものにして其の請願の大要左の如し

朝鮮の開發は刻下の急務にして其の方策一にして足らずと雖も吾人は先づ農業の進步發達を計り輸產の改良增進を期するを以て最大の急務なりと信ず故に苟くも之れが發達進步を阻害するものなれば進んで其の弊害を支除するの策を講ぜざるべからず而して其の弊害中最も甚だしきものは穀物移入税と爲す夫れ朝鮮に於ける產業中產額多大なるものは穀物にして獨り朝鮮內地の需要を充たすのみならず其輸出額は每年九百萬圓乃至一千二百萬圓の巨額に達し實に朝鮮に於ける移輸出總額の約七割を占む而して殆んど其の全部は之を內地に移出し以て其の購買力を保ち年々約三千萬圓以上の內地物貨を移入しつゝあるなり故に穀物は朝鮮の生命にして農業の進步發達を努むと同時に貿易額の增進を圖るは實に一日も忽にすべからざる急務なり然るに朝鮮に於ける目下の狀況は內に輸移出税の負擔を受け外に輸移入税の重税を荷ひ內地に移入する穀物中の如き之れを輸入外國米に比較すれば明に五分の高率を負ふものにして其の結果は即ち農民の收入を減じ農民の進步發達を阻害し併せて朝鮮貿易の衰退を招き延ひては朝鮮開發の目的を沒却するに至らんとす願くは速に朝鮮穀物に對する移入税を撤廢し以て其の開發の實を擧げられん事を云々

●朝鮮棉花會社　其後園田男爵を委員長として創立計畫中なりし朝鮮棉花株式會社は既報の如く一時日比谷氏一派瓦解の爲め世人の誤解を招き且つ南清動亂の餘波を受けて行惱みつゝありしも其後經濟界の順潮と共に從來の發起人連も躍起の大活動を初め今回更に斯界の泰斗たる東京の前川太兵衛氏及臺灣製糖の荒井泰治氏其他有力なる發起人も加はり資本金を三百萬圓に增額して愈々近く成立の運びに至るべしと

●師團長薨去と京城民團　京城民團にては松永第二師團長薨去に就き弔意を表する爲め十八日香料として金員を贈呈したりといふ

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一　懸賞金壹百圓

右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一　文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一　當選論文の決定は本社爲嘱鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一　締切期限は來る三月一日とす

一　當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一　當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事

一　寄入論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記　本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●定例長官會議　廿日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き倉富、石塚、宇佐美、小松、菊池の各部長官、俵副總裁、小城地方局長、亥角總長代理列席政務の打合せを爲し正午散會したり

●總督府高等官花環贈呈　故松永將軍の靈柩に對し寺內總督山縣總監及總督府高等官一同より美麗なる花環を贈呈したり

●故將軍柩靈發　故陸軍中將男爵松永正敏氏の靈柩は旣記の如く二十日午前九時三十七分龍山驛發の貸切特別列車にて未亡人富子令息正雄氏次男仙吉氏令孃とし子及岩井高級副官從卒の外步兵第六十五聯隊より武裝せる護衛兵五名附添ふて仙臺に向け出發したるが龍山驛の各部隊は沿道に堵列し又李王家より各代理寺內總督を代理して兒玉秘書官、上田大將、各部長官、柴參謀長、大西軍醫部長、藤田總督府醫院長、渡邊高等法院長、國分檢事長、宇佐川東拓總裁其他師團の各將校京龍民間の重なるもの及新聞通信社員一千餘名の見送り盛んなり

●京畿道の土木吏員　京畿道廳土木事務は從來土木係りなるものなく土木事務は地方係の一部に屬し居りしが近來土木事務の增加に伴ひ同事務を地方係より分離せしめて單獨のものとなし同時に主任技師及係員の任命を見十日より事務を開始したりといふ

●國境旅客の注意　安東縣驛を通過する旅客は必らず安東縣驛に於て一應旅客立會の上携帶小荷物の通關檢査を受けざるべからざる規定となり居るを知らずして其儘通過するもの多きを以て已むを得ず同驛に放置せらるゝ始末となり旅客は爲めに着地又は途中船車連絡接續地に未然時日を空過する事あれば旅客は必らず同驛にて立會檢査を了する事に注意を要す又止むを得ざる場合には同驛長又は他に通關檢査立會代辦人を選び之に委任せしむる等の便宜を取るべしといふ

●民團納税と怠納者　京城民團にては民團税怠納の整理及督促を爲すため舊臘來臨時雇員を傭ひ昨今各怠納者に對し嚴重督促中なるが同時に一方督促狀を發し四十三年度及四十四年度の二期分は去る十九日限り納附すべき旨を促し同日迄の未納者に對しては何時にても差押へを爲すべき趣きを通告したるを以て各怠納者は昨今俄かに納附し從つて徵税の成績は非常に良好となりたるが更に本年度の第三期分は近々の內告知書を發すべしといふ尚右納税の方法につき多くは集金員を派遣する方利便なるべしといふものあるも斯くては萬一の過失及行違ひの生ずるやも保し難く而已ならず租税なるものは納税者自身納附するの至當なるを以て集金員の派遣は見合居るとのことなり

●一月中光化門局郵務　鮮人が郵便貯金に對する思想及觀念は年々發達し從つて之れが事務は日毎に繁忙を加へ現に光化門郵便局の如きは現在の局舍にては狹隘を告げ來年度の豫算に於て增築の事に決定せるが今之れが事務の趨勢を示すため一月中光化門に於ける一月中の事務概況を聞くに受の部に於ては郵便爲替三萬八千百五十一圓二十一錢外國爲替百八十一圓五十九錢郵便取立金六百六十四圓三錢五厘郵便貯金九十八百六十五圓八十八錢振替貯金九百八十五圓三錢歲入金一萬六千三百三十九圓三十錢切手貯金六十四圓にして拂の部は同（種目受の部と同樣）六萬五千三百六圓四十一錢同零同一萬五千九百〇四圓六錢同一萬〇六百八十五圓七十五錢同二千五百二十三圓同三萬一千九百三十圓四十錢同五十錢なるが之れを昨年同期に比すれば約四割方の增加なりといふ因に右は內地人も含有しあれど幷は百に對する二分位の割合なりと

●牛皮相場と需要　京城昨今に於ける牛皮相場は乾皮三十八圓生皮は牡皮一斤二十九錢乃至廿四錢牝皮は一斤廿二錢乃至十九錢にして生皮は一に永登浦に於ける朝鮮皮革株式會社に對つて運致され乾燥を經て安東縣又は日本內地へ輸送せらるゝものなるが朝鮮牛皮は品質優良なるも粘擦れある爲め內地には餘り歡迎せられざるも安東縣地方に於ては尚は相當の聲價を保ち鞄其他の製造原料として盛に需用せらるゝ而して牛皮の產出時期は毎年十一月より二月末日に至る間を以て最も繁盛期となし例年該期間には京城のみにて一日百枚以上の牛皮の製出あるものなれど本年は牛肉の價格昂騰し自然食料品としては其の價格に於て左迄の懸隔を見ざる魚鳥類の需用盛になりたる結果著るしく屠牛數を減ずるに至りたる爲め其の乾皮價格は前年に比し六割强の高價を示しをるも牛皮一日の製出高は漸く七十五六枚前後に過ぎざる有樣なりと云ふ

●仁川府の徵税成績　仁川府管內の徵税狀況は舊臘來多數の未納者あり成績不良なりしが爾來當局の督勵其の宜しきを得たるため一月末を以て租税は勿論夫れ以外の收入共全部徵税し昨年度の分は一段落を告げたりといふ

●度量衡器販賣成績　京畿道管內に於ける度量衡器委托販賣者は內地人二十五名、鮮人八名あり昨年中に於ける販賣成績良好なるを以て檜垣道長官は管內の府尹郡守に宛て督勵方を通達したりといふ

●晉州馬山間の道路工事　慶尙南道晉州馬山間の道路修繕工事は去月二十九日より着手したるが沿道の人民は無償にて夫役に應じ成績良好なりといふ

●明石總長の引籠　明石警務總長は微恙の爲め十九日官邸に引籠り靜養中なりと

●淺野三井物産出張所長歸京　兼て東上中なりし淺野三井物産會社京城出張所長は十八日歸京したりといふ

●赤倉事務官歸任期　廣梁灣鹽田に出張中の赤倉度支部事務官は二十三四日頃歸任すべしと

●督府醫院醫科生徒募集　朝鮮總督府醫院にては醫科生徒七十五名助產婦科生徒二十名看護婦科生徒二十名を募集することゝなりたるが右志願者は總督府官報所揭の手續に依り其旨願ひ出べしと

●地方に於ける農事講習　慶尙南道の河東昆陽及び南海三郡農民の子弟五十餘名に對する農事講習會は本月八日より十五日迄開會せり

●漢江臨津江渡船開始　京畿道豐德郡沿岸の漢江及び長湍郡沿岸臨津江は本月十日頃より解氷し船舶の航行並に渡船を開始せり

●朝鮮最近事情要覽　四十四年十二月末日現在朝鮮最近事情要覽は三月始め頃總督府文書課にて發行の由

●半島鑛業振興上の意見（三十）

△鑛業家鈴木延吉氏　曰く自分の現に經營しつゝあるのは黑鉛であるから夫れに就いて述べると朝鮮に於ける諸鑛產物中黑鉛程有望なものはない今日世界に於ける一ヶ年中の黑鉛需用額は土狀黑鉛十萬噸鱗狀黑鉛四五萬噸であつて印度錫蘭一ヶ年の鱗狀黑鉛產額三萬噸を以て最も大なる黑鉛の產地と認められて居るが而も朝鮮が黑鉛に豐富なることは其の採掘法にして適當なるを得ば世界現在の需用額を發掘して尚ほ余裕ありと稱せらるゝ程である而して黑鉛は他の鑛物に比し之れが發掘には經費を要すること極めて少く土狀黑鉛は一噸僅に二十七八圓乃至卅圓の相場に過ぎぬが鱗狀黑鉛は三百圓內外を以て優に取引行はれ其の朝鮮黑鉛の供給先は勿論歐洲諸國で品質の良好なるも既に歐米工業家の確保してをる處であるもの、唯茲に遺憾とすべきは朝鮮現在の黑鉛採掘は多くは資本二百圓甚だしきは百圓內外の小資本を以て鮮人に依り試みられ土中より採鑛したものを舊式の節にかけて土砂其他のローズを取り去る丈けで各鑛區又た個々別々の品質を出し毫も品質の統一等を顧みず加ふるに元來が小さな本經營なる爲め同質の黑鉛を產出することは其額の多少大なるに至ると共に永續せざるの傾向あるを免れざるなり歐米諸國の需用先にては余り朝鮮黑鉛を歡迎せざるの傾きはあるが而も其の品質にして統一され供給亦一定の限度に責任を以てするならば何時にても喜んで之れが供給を歡迎するとは外商の均しく唱ふるところで又た朝鮮黑鉛の豐富なること既に上述の如くなりとせば此際黑鉛鑛區の集合する地域に大規模の製煉所を設立し附近幾多の小鑛區より發掘する黑鉛を茲に集めて以て製煉をなし一定の品質に之れを統一するに於ては朝鮮黑鉛の販路擴張すべく自然鑛業發展に資すること極めて多かるべく尙其の他と共に製煉所設置は亦黑鉛にも甚だ必要なるものである尙ほ一般鑛業に就いて述ぶれば現今朝鮮全土に涉り宮內府所管鑛區と稱するもの二十餘郡あり此等は何れも皆各種鑛產物に豐富なる地域と認めたるものを宮內府にて所管せるを併合と共に農商工部の所管に屬したるもので該區域內に於ては鑛區發見者に對しても鑛業上の先願權を認めざることゝし農商工部にて適當なりと認めた內地大資本家に限り其の經營を許可する方針となり居る爲め漸次鑛區探見の氣風を沮喪せしめ漸く良鑛山の發見をして困難ならしめんとして居る差し當局の意は朝鮮在住の鑛業家を所謂權理屋と見做し之れに對つて先願權を許可せんか此等宮內府所管地たる良鑛產地域は總て外國人等資本豐富なる人々に依り經營されんことを恐るゝにあるのであるが併し現狀態は未だ各鑛區の發見るゝ時代であるから此等區に對しても亦先願權を主にして一定の時日を經に從事せざる場合には之取する等の規定を以てす局に於て他に其の經營に家を發見する場合には先該資本家の間に相當なる等の方針に改めたならば身命を賭しても良鑛區のるに至り自然朝鮮鑛業のること當局專門技師の所優ること或は却つて大な[illegible]

●間島支那人の陰曆正月[illegible]際し間島在住の支那人も何[illegible]を揭揚し至極平穩に正月を[illegible]りといふ

公人私人

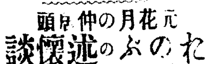
▲關正一（工兵少佐）　十九日山本旅館
▲南保直次（步兵少佐）　同
▲豐永眞田（農學博士）　同

▲京城手形交換高

二月二十日　金　一九四、二三三、二七[illegible]

▲茶袋▼

民團税が思[illegible]らぬので、民團當局者も種[illegible]果、納税督勵會てふものを[illegible]金の等別抽籤券を發行せう[illegible]を立てゝをる事は此程の本[illegible]たが、之に就て大分世間か[illegible]てくるやうだ▲朝鮮通信の[illegible]同通信中『町內會を組織せ[illegible]京龍市民に警告的の長い議[illegible]をる、未だ完結せぬから今[illegible]判斷は下し難いが、民團税[illegible]宜しきを得ざるが爲、未納[illegible]のであるとの前提をして、[illegible]を難してをるのは、吾輩も[illegible]▲現に角民團豫算（民團債[illegible]二萬餘圓なるに拘はらず滯[illegible]萬餘圓即ち三分の一强の缺[illegible]をる民團の現狀に就て、民[illegible]到りし顚末をば充分辨明せ[illegible]い、市民も亦大に之を聞く[illegible]在住民に漏なく課税をして[illegible]▲大體民團行政中最も肝要[illegible]を取立てる事である、之が[illegible]れぬ限りは敎育にあり土木[illegible]の事業をやることが出來ぬ[illegible]町々に總代を置いて、町內[illegible]を督勵させてをる所が多い[illegible]町內に移住した者も此總代[illegible]や町村役場へ通知すること[illegible]上徵收上共に便宜を得つゝ[illegible]でも例の衞生組長をして町[illegible]しめ大に之を市政上に利用[illegible]か▲トコロガ當地では、誰[illegible]をしてをるのや町內で一向[illegible]が多いコレも改良ものであ[illegible]



れのぶの述懐談

元花月の仲居頭

（其の十一）

長話しに聞けた夜を呼び醒す鶴の音も遠近に聞ね初める『伊藤の御前時代の綠泉亭……エー統監邸の賑かさつたら有りませんでしたね、夜が明けるとモウ其晩お召しになる妓輩衆が定つたものです、古谷さんか高崎さんから電話で今夜は誰某と誰某と云ふ風に毎晩三四人宛お召しに成つたものでしたが伊藤の御前は萬事に公平でしたね決して花月計りとか掬翠斗りとかの事はなく必ず双方を平均に御贔負になつたのです、貴許も御存じでしたらうホヽヽ』と眼を据ね首を傾て男の顔を下から見上げる如に『れ千代さん、御存じでしよう今は大阪に歸つて花月と云ふのを營つて居る丸い色白の中年増彼の人も一寸の間でしたが御前の御贔負を受けました掬翠では三郎さん、此も一寸の間でしたけれども御贔負を蒙つて居てでした、夫れから文之助姐さん、エー現の菊家のね、イ、エ、彼の妓は左様のぢやあなくてれ話相手に召されたものです、御前のは藝妓を斯う前へ列ばして扨各自が勝手に好な話をして居るのを、ニコ／＼笑ひながら聞いて被在つて時々戯談を仰云つてはブランデーを飲るのです、一寸朋輩の格合ですね樂なものですとも遊んで居るも同様ですね、就中文之助姐さんなぞは御前と議論を初める事があるんですよ、勿論大した事では無いんですがね御前は一向平氣のニコ／＼ものですが姐さんの方は怎うして一生懸命例の調子で食つて蒐つて勝たなければ承知しないんですものね、だから能く御前は左様仰云つたものです、文之助の理窟には一向感服せんが其熱心にはイツも閉口させらるよつて、文之助さんは和歌を詠んで御前に御眼に掛けたことなぞありましたよ』語り來つた渠女は曉の色や、白う窓前に迫つて電燈の光り醉瑪瑙の如く立ち罩めた朝靄の中から物賣る人の鈴の音が甍醉を叫ぶ天使の聲と響くのをヂツと聽き入つて居たが遽かに膝を退いて『詰らぬ話を調子に乗つてれ饒舌を致しました、れ話すれば未だ澤山面白い……と思ふ事もムいますがね、朝の仕度がありますから此處邊で一つ切り上げさして頂きます、旦那、貴許も一寸横にれ成り遊ばせや、湯タンポが何うムいませうかしら』ツト起ち上つたがツイヒヨロ／＼と『ホヽツ、ホヽヽヽ私し此様に醉つた事はホントウに珍らしいんでムいますよ』蒲團の裾から手を入れて『マダ二つ共火の如です、れ寢み遊ばせ』と挨拶して廊下に消ねた後姿を見送つた男は思はず身振したのであつた。渠女が紅舌に觸れて身を燬きしもの幾人なりけんぞ、蛇食ふ雉の羽色の美しうて（前篇終）

●可憐の小蝶女郎

▽涙なき樓主仲居

當地中の新地大阪樓事田原卯之助方の抱へ娼妓に源氏名を小蝶(二三)と呼ばるゝ女がある幸福好うて斯うした勤めをするものゝあらう筈なければ此妓とても不幸福の身を四ヶ年間を三百圓にて四十三年九月中前記の大阪樓に抱へられ吳越の客を送り迎ねて相當に流行て居たが本月に入つてから心地勝れず然りとて店を退いて療養をする抔の自由も出來ないので進まぬ乍らも娼寶して來た去る十二日餘りに不快なので醫師に診て貰つた所心臟とやらに罹つて居るから暫らく店を退いて養生をした方がとの事に樓主に事情を話して一月程休業さして呉れと賴み込んだ所早速承知して呉れると思ひの外染々と話しも聞かず贅澤を云ふなと剣ね付けて取り合はぬに涙に暮れて日を送るを庇ふ筈の仲居のれたつと云ふが鬼の如な心の女とて日毎夜毎に寢へ行く小蝶を可憐とは見ず辛く當り散らすを朋輩の誰彼れが可憐がつて蔭に廻つて兎角慰め勵はるを力に浮世の浪に揉まれて居るとか

●三越の雛人形

▽愈々二十日から陳列

當地三越吳服店の雛人形陳列會は二十日から開催された入口左側の飾窓には紅白元祿模様の飾りに桃の花が配らつてあるばかり未だ雛の飾付けはなかつた會場たる休憩室も飾付け中であるが年前の流行に較べると形は大變に少さくなつたそして大抵室町雛を模作した正面には松に鶴を配した金屏風が輝いてゐるその周圍には七福雛、子寶雛、蛤貝の中に收めてある豆の様な和倉雛や古代雛十種かつら子、さつま、土佐、伏見、奈良、ぎんけい、深草、吉野等が一箱に這入つてゐる何れも珍品である、左側には金蒔繪の箪笥や島臺火鉢三寶など道具一式が列んでゐる右手には內裏様とか官女五人囃等が一面に飾られて間に又平雛が配されてあつた、若い奧様達の立ち去り兼ねる風情であかず見入つてゐる人も多くあつた（一記者）

●夫婦共謀し詐欺

▽身代金の只取り

原籍廣島縣和庄町信次の弟窃盗前科者須田耕爾(二九)神戸市荒田町一丁目百二十八番地游三の長女木山こよし(二四)の兩人は昨年十二月一日兵庫縣塚本町太田岸松方滯在中同家の兵兒帶を窃取し逃走したるを以て手配中なりしが耕爾は昨年十二月二十九日龍山の口入屋なりと稱し仁川敷島新地遊廓開進亭へ妻のこよしを八十圓に賣込み一月元日自から客と成て同亭に登樓し同夜家人の寝込を窺ひ手に手を取て逃走し京城太平町吉田光太郎方に潜伏し居たるに本月初旬圖々しくも仁川寺町東郷旅館に來り岡山縣竹東町木村光太郎同妻小西はると稱して宿泊し居り宿料三十余圓滯りたるを以て又々逃走を企てんとしたるを十七日阪下今井の兩刑事に取押られ野村警部殿重取調中

●黄金賣強盗に襲るは

▽現金及金塊を强奪す

平安北道龜城郡五峯西鳳洞里金塊買商尹泰龜(三九)は二月十三日該道昌城郡東倉面木檢洞より龜城郡東山面嚴橋里へ通行中三名の鮮人强盜突然物蔭より現はれ尹を捉へ手拭にて兩眼を覆ひ兩手を制縛し洋刀を以て尹の右股に傷け尹の持ち居りし現金六百五十圓金塊九百三圓五十錢餘を强奪し逃去せしが其の筋にて犯人嚴探中なり

●末恐ろしい少年　京城生れの孟壽福と云ふ十七歳になる少年は住所不定にて昨年十二月末より本年二月十五日迄に衣類十數點其他靴等多數の物品を窃取し十六七ヶ所を荒せし末恐ろしき奴なるが東大門分署に捕へられ尚嚴重餘罪詮議中なり

●横領犯人の逮捕　福岡縣築上郡八屋根村字八屋當時住所不定有延渉(三九)と云ふは本月十日鎮南浦東四丁目運送業伊丹儀平の委託を受け同地城山町スタンダード石油會社支店より百十二圓六十錢の手形を受け取りながら是れを伊円に返さず十二日に至り朝鮮銀行支店の預金中より百圓を引き出だし京城に逃げ來れるを十九日午前九時頃本町通りにて南部の佐藤の兩刑事に捕る

●正直な鮮人　本町旭本通り製靴商吉田政太郎方鮮人金泰山(一九)は十九日午後十時頃本町山南瓦斯會社附近の路上に於て金側時計一個を拾得直ちに本町署へ屆出でたり從來鮮人は拾得物など屆出の手續等せず之を隱匿する風あるが此鮮人に限り正式に屆出でたりとは珍らしと署員の一人は語れり

●松林中に變死人　二月十九日京城西部仁達坊新村洞裡松林山中に變死人ある旨西大門分署に報知あり中村部長は巡査補を伴ひ警察醫と現場に臨檢せしに年齡廿一二歳位の鮮人にて二日餘り以前に死したる如く生前肺の症狀あり夫れを苦にして苛性曹達を多量に服し自殺したるものなりと檢視の後死體は西大門外阿峴寺に假埋葬したり

浮水席の一奴

愛奴の一萬圓處分法

未だ雛妓らしいところの失せぬ丸ポチャな瞳の黒いとは謂はぬがチャァミングな大きい眼から愛嬌が溢れ出てゐる只可愛い少さな奴さんだ

私し何にも知らないわ……と顔を赤くしてッ、マシやかに笑ふ一萬圓なんてお金の仕末なんか怎うしたらいいんでしようか少し考へて見ますと胸算要時……あのね五千圓は貯金よ殘餘の半分の中でね藝者なんか廢業て了ふのそしてねお母さんとね身の廻りのものや世帶道具を買つてね一家水入らずとやらで樂しく暮したいわ……モウ夫れぎりかね何か落したろう……何もありませんのさ目を瞬る御亭主は……厭やッ未だ早いわ其時になればね母さんとよく相談して茶屋遊びなんか些ッともならぬ酒も多く飲まない堅い人でなくちやツレにねその前に勉强しなくちやならないことが澤山ありますものと笑ひ了ると子供は正直な者何處かに姿を隱して了つた。

●度量衡法違反　京城西部藥峴二一一統七戸大工職李五奉(三〇)は自宅に於て布帛尺と云ふ舊式の朝鮮尺を密造なし居る事を東大門分署の手に發見物品押收度量衡法違犯として檢事局へ送致す

●鐘で煙草を喫む　唐州郡九川面城四洞三統九戸李呂順は伯父なる李德桂に煙草錢を貸せと迫まりしも應せざりしが爲め庭にありし鐘を窃かに盗み取り居りしを東大門分署に屆出でられ親族關係に依り訓戒放免さる

●賭叩かれの好補者　十九日午後一時南部美洞李區來方にて同家の雇人金連三(二八)同朴泰三(廿六)及び西部武橋人夫韓德三(二三)同孫珠峴人夫曹順道(三六)の四名が賭博中南部署の手に捕へらる

●靴を盗んで　京城東部蓮洞六十統五戸命鎮木方李英植(一九)は二月十四日自己の主人なる命鎮木方に遊びに來たりし隙を東の靴を十間にて窃取し居りしが廿日に至り判明し東大門分署の手に捕縛さる

●時計と翡翠玉　西部積善坊司醞洞三十五統七戸韓富鎬は二月十七日午後三時自宅に於て置時計一個價格五圓五十錢、翡翠一個價格三圓の品窃取され盗難の旨廿日西大門分署に屆出づ

●日韓瓦斯電氣の舍宅　日韓瓦斯電氣株式會社にては今回南部山南町に同社社宅建設する由にて建坪六百餘坪の地均らしに着手したり

●派出所の改築　阿峴、石橋、社洞、工后洞の各派出所は最早朽ちたれば警務總監部に於ては近く之れが改築を行ふべしと

●時計振興會認可　京城時計振興會第三回會員募集に就ては河島敏外十四名連署にて警務總監部に出願中なりしが去る十七日付認可を得たりと

●演藝だより

▲壽座　今二十一日より浪花節芝居中村かしく一座にて開演藝題は前『關口武勇傳』『中』『赤垣源藏徳利の別』『切』『石切山土蜘蛛退治』なりと

▲歌舞伎座　新派中村榮一行にて二十一日より開演初日狂言は『意氣地』

▲浪花館　東操今晩の語り物は『西鄕再度の旗舉げ』今村光之助の『傳』なりと

▲龍山佐久良座　舊劇若島屋一座にて二十二日より幕開けの筈藝題は前『軍術出口の柳』『切』『新作浦島太郎』

花柳放言　誘ふ水（一）

▲落ち方の二月の月が待乳の梢に渡つた頃、引懸り、橋場あたりの夜色も更けて、葉櫻の土堤を合傘できしらせて行方は入金か八百松『今夜ばかりは喧嘩はよしましょうネ』などゝ申すところに藝者の味はあるものとか▲京城は花月、掬翠、清華、松葉、井門など各々の內藝者と稱するものありて、夫々廻し部屋の設備もありと聽く、引付で騒いで割床を與がるは小店遊興に止めを刺すが、未來の東京を夢見る京城の料理屋として何時までこんな形式を續けて行く積りにや▲由來內藝者など、言ふものは、窓を開けると肥臭い風の辨ひ込んで來る土地柄に相應しい奴つで、電車の鈴が鳴る様に成つたら自と消えて無くなる可きものと考へる▲言はんや藝者買は身勝手の出來る處に身上がある、內藝者を掲げて何時も目先の變らない座敷で天理教から釣錢の來そうな田舍太鼓を間拔けに叩いて、いやつちよかまかせやサノサで騒ぐのを遊興と心得る様だから京城の人はいい智恵が出ないのだ、先づ京城も合併した歌澤が流行るようにならなくちやいつまでも村方の哥兄の寄合だ▲お氣にさわつたら與平御免だが、その積りで內藝者だけは何とか改良が願いたいもの（此の字）